

構造エネルギー工学学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OALF000	インターンシップ		3	1・2	通年	随時		松島 亘志	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における就労体験を通じて自らの能力涵養、適性の客観評価を図ると共に、将来の進路決定に役立てる。具体的には、各種情報技術が実務の中でどのように活用されているのかを知り、必要な情報技術・スキルを学び、また、自らの研究課題の社会における位置付けを確認する機会とする。開始前の相手方、学位プログラム間の了解と終了後の報告書提出を単位取得の条件とする。	01CM911と同一。

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OALF500	構造エネルギー工学前期特別演習I		2	2.0	1	通年		構造エネルギー工学学位プログラム専任教員	1年次生を対象とし、構造エネルギー工学学位プログラムにおける全研究分野の概観を与える。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	01CM011と同一。
OALF501	構造エネルギー工学前期特別演習II		2	2.0	2	通年		構造エネルギー工学学位プログラム専任教員	2年次生を対象とし、構造エネルギー工学学位プログラムにおける全研究分野の概観を整理し、各人が取り組んでいる研究の位置づけを行う。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	01CM012と同一。
OALF502	構造エネルギー工学前期特別研究I		3	4.0	1	通年		構造エネルギー工学学位プログラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する基礎的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導する。1年次生を対象とする。	01CM021と同一。
OALF503	構造エネルギー工学前期特別研究II		3	4.0	2	通年		構造エネルギー工学学位プログラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する発展的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導し修士論文の完成を目指す。2年次生を対象とする。	01CM022と同一。